

15. 宜野湾市嘉数の慰霊碑実測調査

京都府立大学文学部歴史学科
地理学研究室

沖縄県宜野湾市に所在する嘉数高台公園には、「京都の塔」や「嘉数の塔」などの慰霊碑が建立されている。これらの慰霊碑が建立された経緯や嘉数地区との関わり、慰霊祭の様子、碑文翻刻などは、本研究室の既存現地調査報告の中で報告してきた（奥谷 2016a、2016b、2017、2018、2019a、2019b）。しかしながら、碑そのものの調査報告については、その機会を得ないままとなっていた。

そのため、令和 6 年度（2024 度）の沖縄現地調査では、嘉数高台公園に所在する慰霊碑・記念碑のうち、「京都の塔」「嘉数の塔」「京都平安之碑」について、写真測量による実測をおこなった。調査は令和 6 年 6 月 24 日午前に実施した。現地調査の参加者は下記のとおりである。調査成果に基づき、地理学教室メンバー（王・廣野・藤田・山下）によって図化作業をした結果が図 1～図 5 である。

現地調査参加者：井上直樹・上杉和央・岸泰子・菱田哲郎（教員）、登谷伸宏（京都工芸繊維大学教員）、向井佑介（京都大学教員）、岩井天・岡橋莉奈・崎浜七夏・樋上千翔（3 回生）、石川達葵・橋本唯・廣野勝・藤田尚希・山下悠衣奏（4 回生）王一冰・大倉響稀・花尻千秋・松岡茉陽琉・山内愛弓・横白彩江（博士前期課程）

〈参考文献〉

- 奥谷三穂（2016a）「「沖縄京都の塔」について」京都府立大学文学部歴史学科文化遺産学コース（上杉研究室）『与那原町（2015 年度地理学実習現地調査報告書）』
- 奥谷三穂（2016b）「嘉数高地の戦いの記録と嘉数区慰霊祭」京都府立大学文学部歴史学科文化遺産学コース（上杉研究室）『与那原町（2015 年度地理学実習現地調査報告書）』
- 奥谷三穂（2017）「沖縄戦における嘉数地区での住民の様子と嘉数高台公園周辺の慰霊碑調査」京都府立大学文学部歴史学科文化遺産学コース（上杉研究室）『八重瀬町（2016 年度地理学実習現地調査報告書）』
- 奥谷三穂（2018）「慰霊碑建立の場と記憶継承のあり方に関する調査—嘉数高台公園の慰霊碑を中心に—」京都府立大学文学部歴史学科文化遺産学コース（上杉研究室）『南風原町（2017 年度地理学実習現地調査報告書）』
- 奥谷三穂（2019a）「慰霊の記憶の継承における「場」と交流のしくみ—「沖縄京都の塔」から—」京都府立大学文学部歴史学科『京都府立大学文化遺産叢書第 15 集 沖縄の宗教・葬送儀礼・戦没者慰霊』
- 奥谷三穂（2019b）「激戦地嘉数高地の戦いの下での住民の避難の状況」京都府立大学文学部歴史学科文化遺産学コース（上杉研究室）『糸満市（2018 年度地理学実習現地調査報告書）』

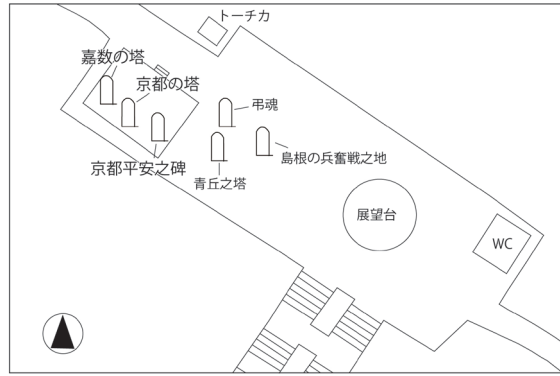


図1 嘉数高台の慰霊碑配置概略図

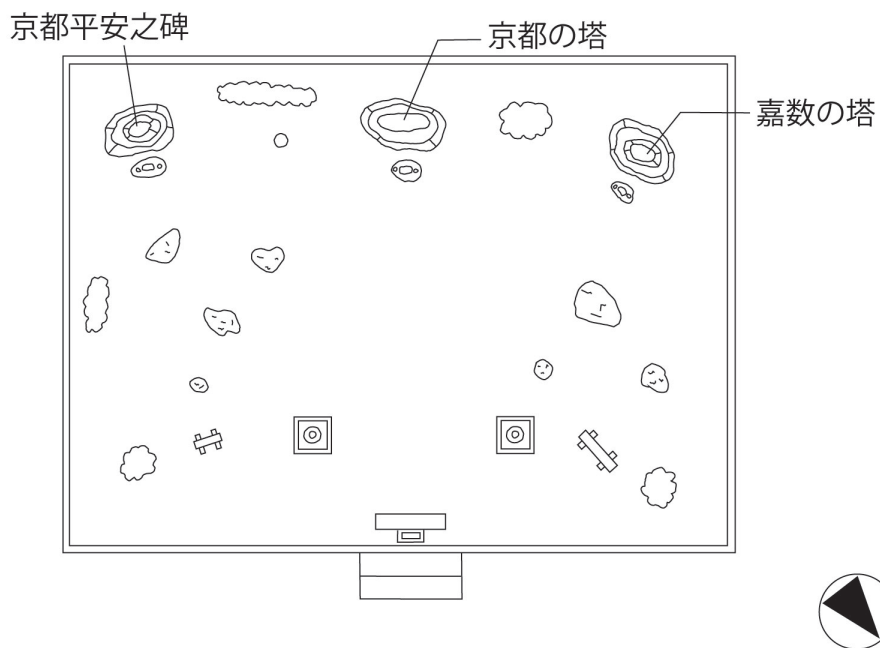


図2 「京都の塔」墓域 見取り概略図

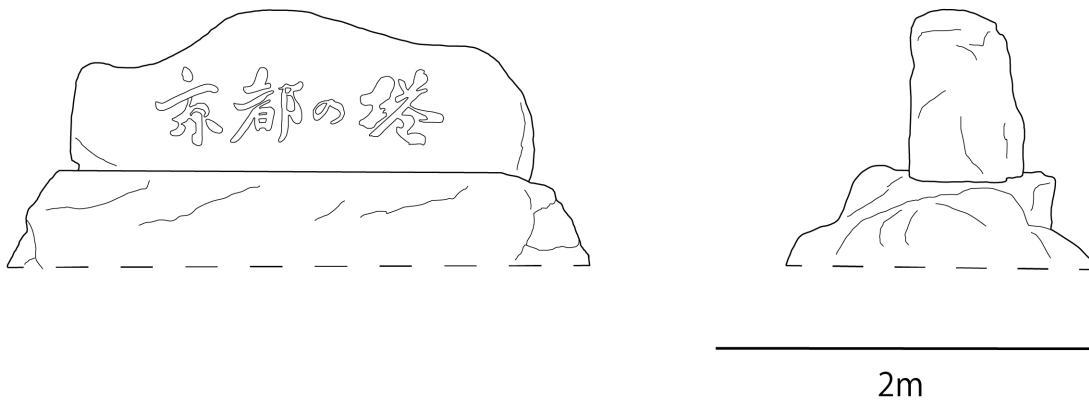


図3 「京都の塔」写真実測図 (1:40)

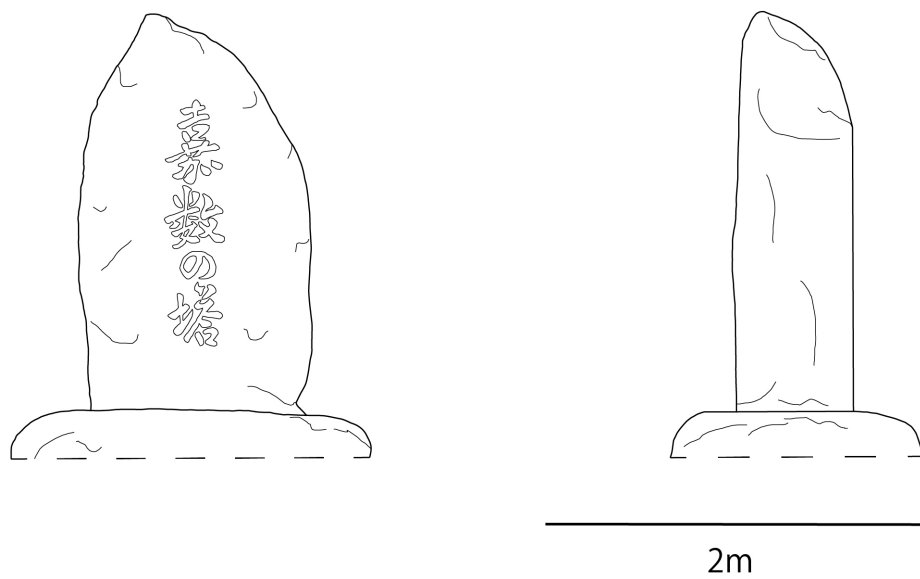


図4 「嘉数の塔」写真実測図（1:40）

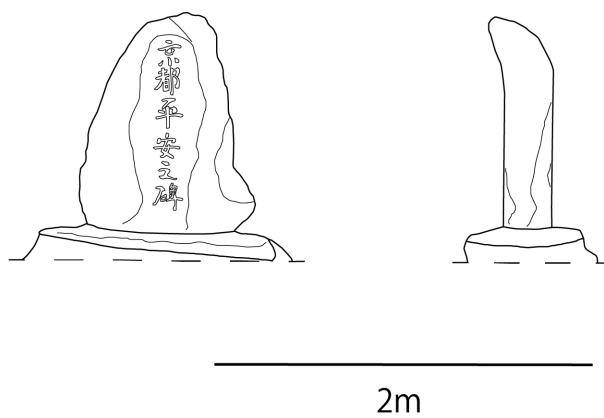


図5 「京都平安之碑」写真実測図（1:40）

〈表紙・裏表紙の写真解説〉

表 右上 小栗助次郎氏から小栗あき糸氏へのはがき
上 前川定雄氏が沖縄から送付した郵便物袋
左上 山内充氏が戦地で利用していたゲートル
中央 沖縄京都の塔（宜野湾市嘉数）

裏 中央 「京都の塔」実測トレース図



京都府立大学文化遺産叢書 第36集

京都出身者の沖縄戦

編集 上杉和央
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5
発行日 2025年3月21日
印刷 株式会社 北斗プリント社
〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2